



コミュニティ・スクール太宰府市立太宰府東中学校

東の風

令和7年11月4日（火）第7号 文責：校長 高良 悦子



11月6日は研究発表会

本校は太宰府東小学校、太宰府南小学校とともに、2年間にわたり筑紫地区人権教育研究交流推進委員会研究協力校事業に取り組んでまいりました。

11月6日（木）には「部落差別に対する科学的認識に立って、真に差別をなくしていく意志と実践力を持った人間の育成～『自分ごと』として捉える学習活動を通して～」を研究主題とし、その成果を発表する授業公開・研究協議会を行います。



○ 1年生(道徳科):「教科書無償のたたかい」

- ・教科書を無償にする権利を勝ち取る背景を知り、差別をなくすために自分に何ができるかを考えます。

○ 2年生(社会科):歴史的分野 近世「天下泰平の世の中(身分制)」

- ・身分制度のもと差別された人々の暮らしを調べ、どのような仕事や役割を果たしたのかを学びます。

○ 3年生(道徳科):「統一応募用紙」

- ・就職試験において、企業に提出する書類が統一応募用紙に一本化された背景を知り、将来、自分の就職試験での場面を想定して、自分だったらどうするかを考えます。

生徒たちは、歴史や世の中の課題を学び、現代社会に存在する人権問題について「自分ならどうするか」という視点で真剣に考え、意見を交わします。これらの学習を通して、差別の現実に対する科学的な認識を持ち、真に差別をなくしていく実践力を身につけることをめざしています。

なお、今回の研究発表会は教育関係者（指導者・教職員）を対象としており、誠に恐れ入りますが、保護者・地域の皆様にご参会いただくことはできません。

しかし、今回、生徒たちが小・中学校でこのような重要な学びを深めていることを、ぜひ学校だよりを通じて知っていただきたいと思います。ご紹介いたしました。ご家庭や地域でも「人権」について考えるきっかけとなれば幸いです。

「太宰府東中ブロック」として

本発表会は、ブロック内の太宰府東小学校及び太宰府南小学校と連携して実施するものです。会場は小・中で別々となりますが、公開授業や授業後の研究協議についても、小学校と同じように行い、義務教育9年間を見通した人権教育のあり方について教職員が学ぶ場となります。



今後も、生徒たちが人権を尊重し、社会の課題に主体的に立ち向かえる人間に成長できるよう、教職員一同、指導に努めてまいります。